

企業の出勤状況調査（2025年9月）

<アンケート結果総括>

■ 集計結果概要

- ・ 約7割の企業がテレワークを実施、約6割の企業が時差出勤を実施している
- ・ テレワーク、時差出勤ともに、8月以降新たに取組を実施した企業は少ないが、約7割が引き続き取組を行っている
- ・ 夏に実施した広報掲示について、見た人は約3割を占め、前回の広報実施時と同程度に推移している

○以前から引き続き、多くの企業の皆様には、テレワークや時差出勤を始めとするスムーズビズの取組にご協力いただいています。

○テレワークや時差通勤を始めとするスムーズビズの取組は、通勤ラッシュの回避や新しいワークスタイルの実現に新型コロナウイルス感染症の再拡大防止にも役立ちます。引き続き、スムーズビズにご協力をお願いします。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

引き続き、定期的に調査を行い、登録企業の皆さまの取組状況把握に努め、都の取組検討に活用してまいります。
今後とも、アンケートへのご協力をお願いいたします。

企業の出勤状況調査（2025年9月）

<実施概要>

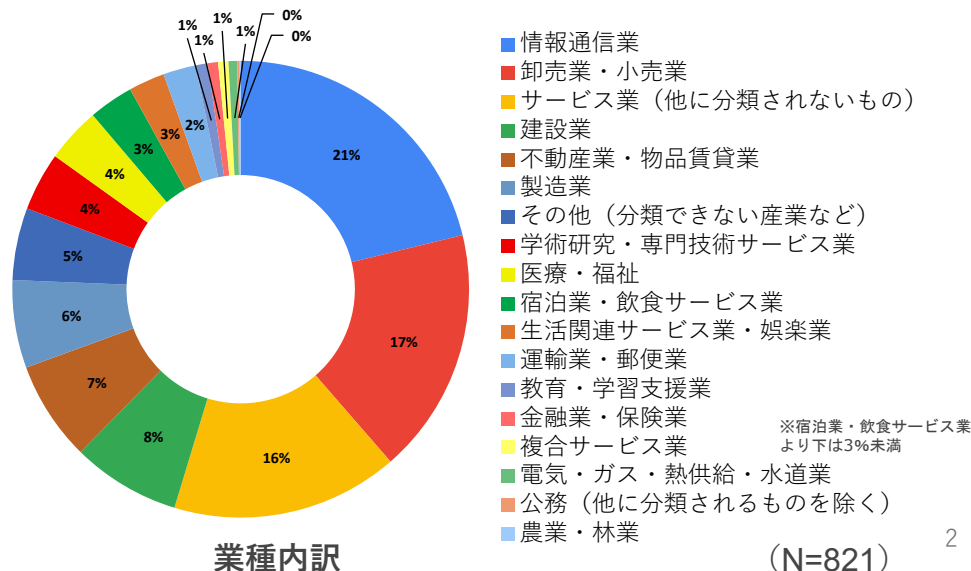
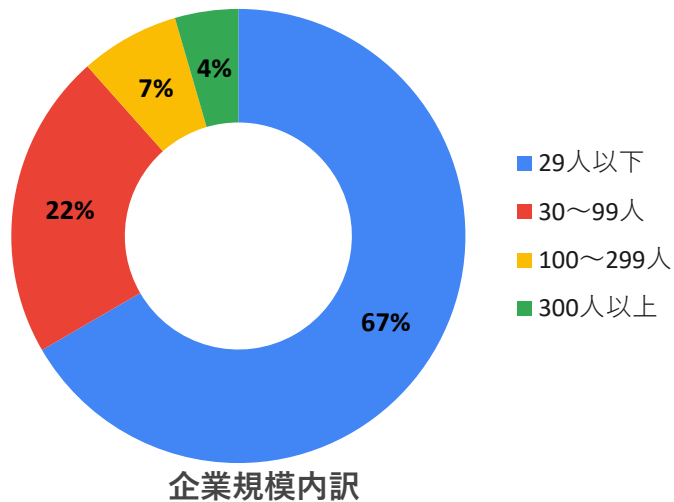
■対象：約9,500社（スムーズビズ登録企業）

■質問項目

Q1: 8月の取組内容
Q2: 2025年5月からの取組規模の変化
Q3: テレワークと時差出勤について
Q4: 従業員の出勤割合
Q5: 従業員の出勤時刻
Q6: 2025年5月からの勤務形態の変化について
Q7: 通勤時の混雑への工夫について
Q8: 回答者の通勤状況について
Q9・10: オフピーク通勤に関する広告について

■総回答企業数：821社（無効回答：54社）

■実施期間：2025年9月18日(木)～10月9日(木)

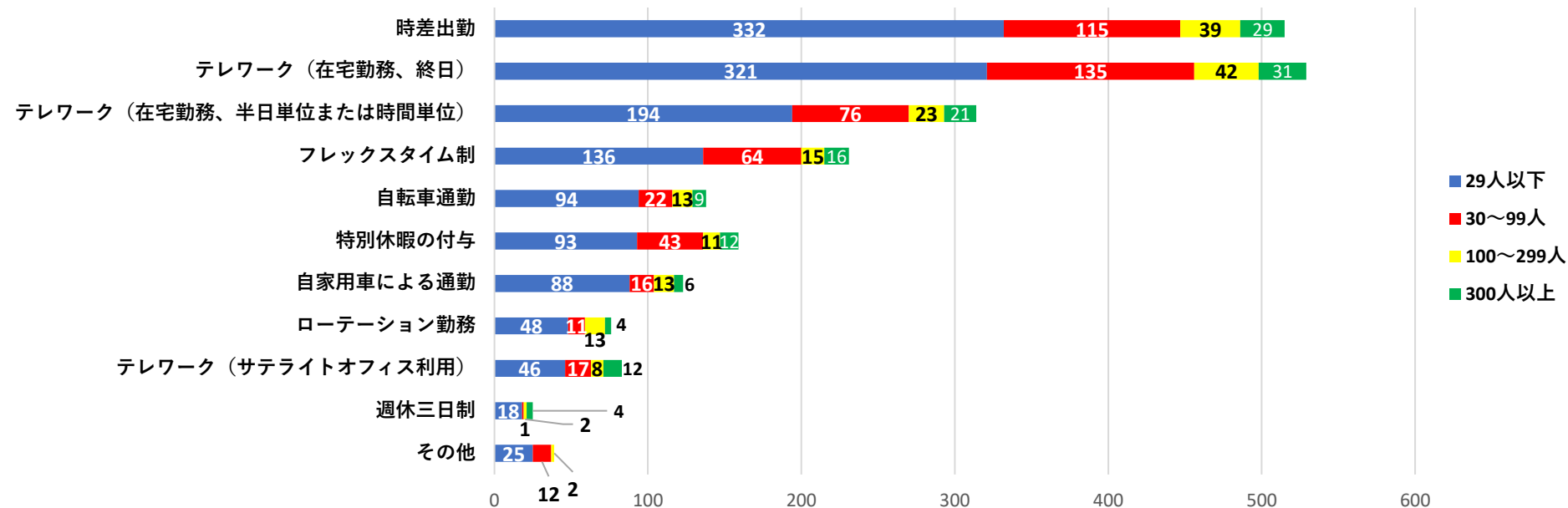


(N=821)

Q1: 8月の取組内容

令和7年（2025年）8月に実施した取組内容（複数回答可）

- ・テレワークは約7割、時差出勤は約6割の企業が実施している
- ・その他にもフレックスタイム制や自転車通勤を実施するなど、各企業が工夫していることがわかる



取組内容と企業規模の内訳

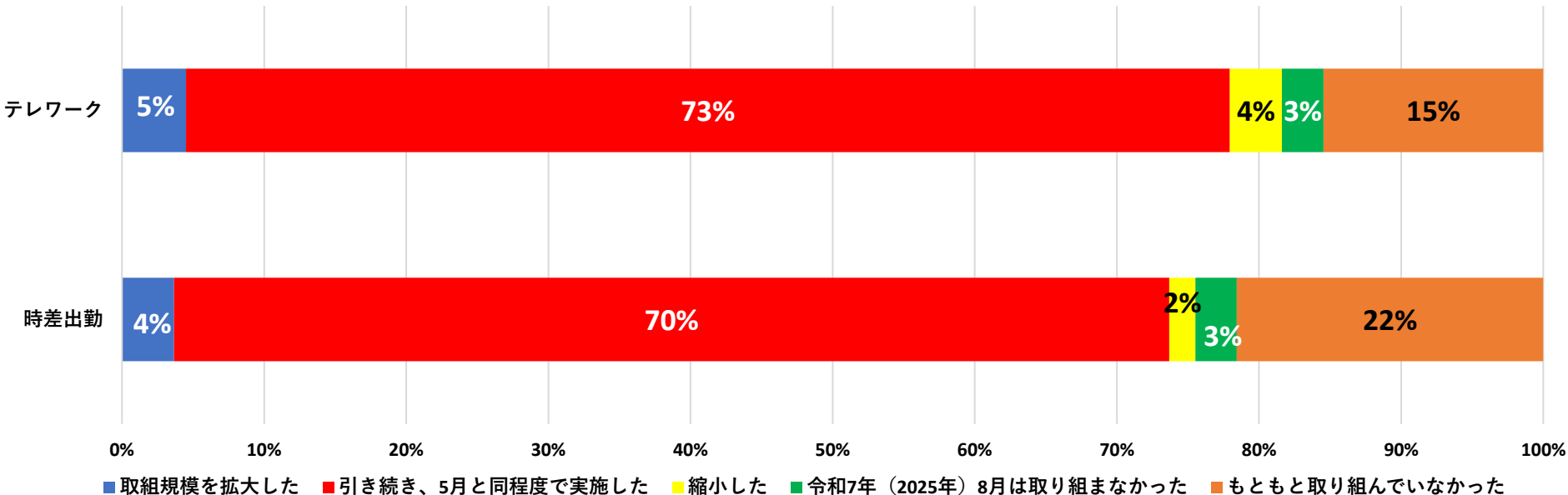
(N=821／複数回答可)

Q2: 2025年5月からの取組規模の変化

2025年5月と比較したテレワーク・時差出勤の取組規模の変化

- ・テレワーク、時差出勤いずれも約7割の企業が継続して取組を実施している
- ・一方で、テレワークは15%、時差出勤は22%の企業が未だ取組を実施していなかった

※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



テレワーク・時差出勤の取組の変化

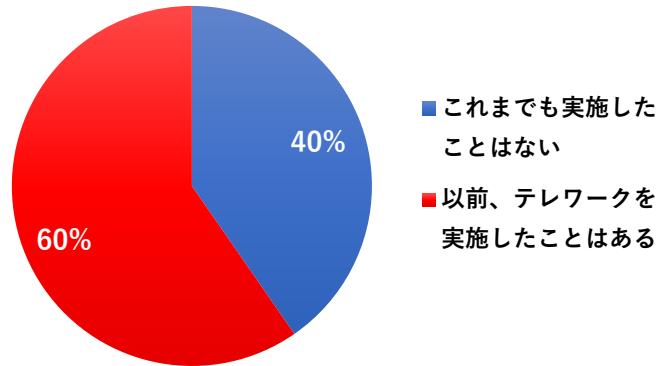
(N=821)

Q3-1：テレワークを実施していない企業の状況

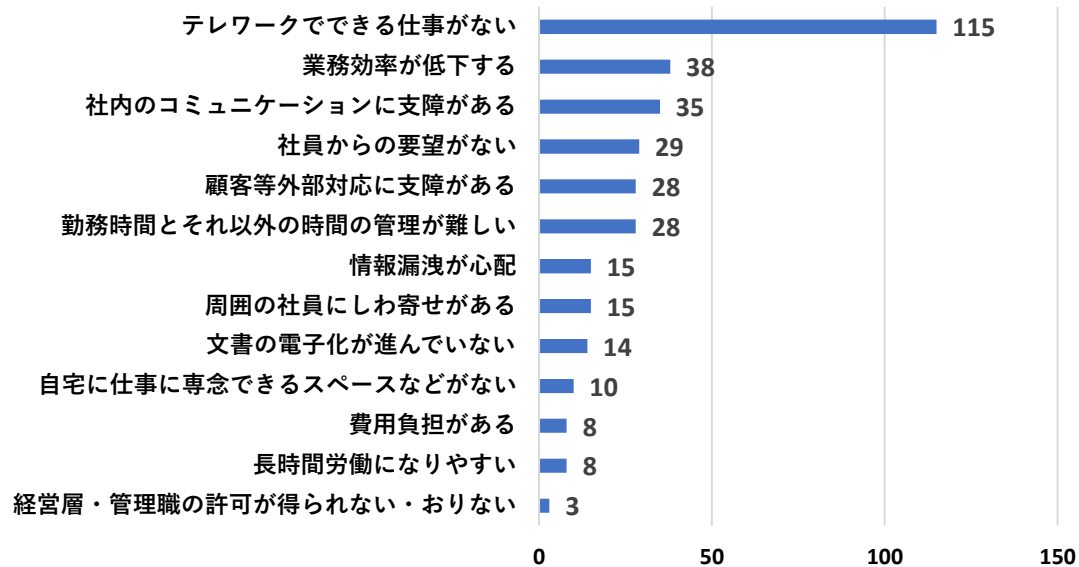
Q1において、テレワークを選択しなかった企業の状況

(※取組内容としてテレワークを選択していない企業)

- ・テレワークをしない理由としては、「テレワークのできる仕事がない」が全体の33%で最も多かった
- ・また、「業務効率が低下する」が次いで11%を占めていた



テレワーク実施状況 (n=280)



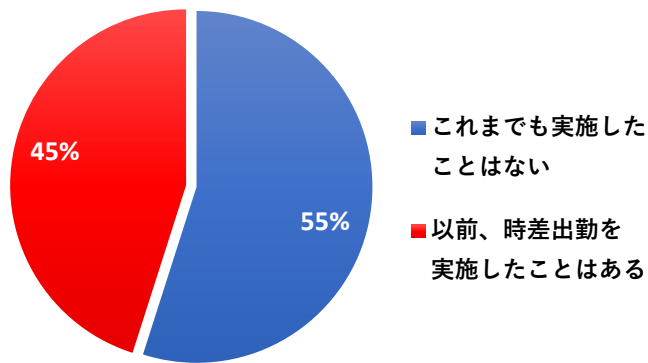
テレワークを実施しない理由 (n=291)

Q3-2：時差出勤を実施していない企業の状況

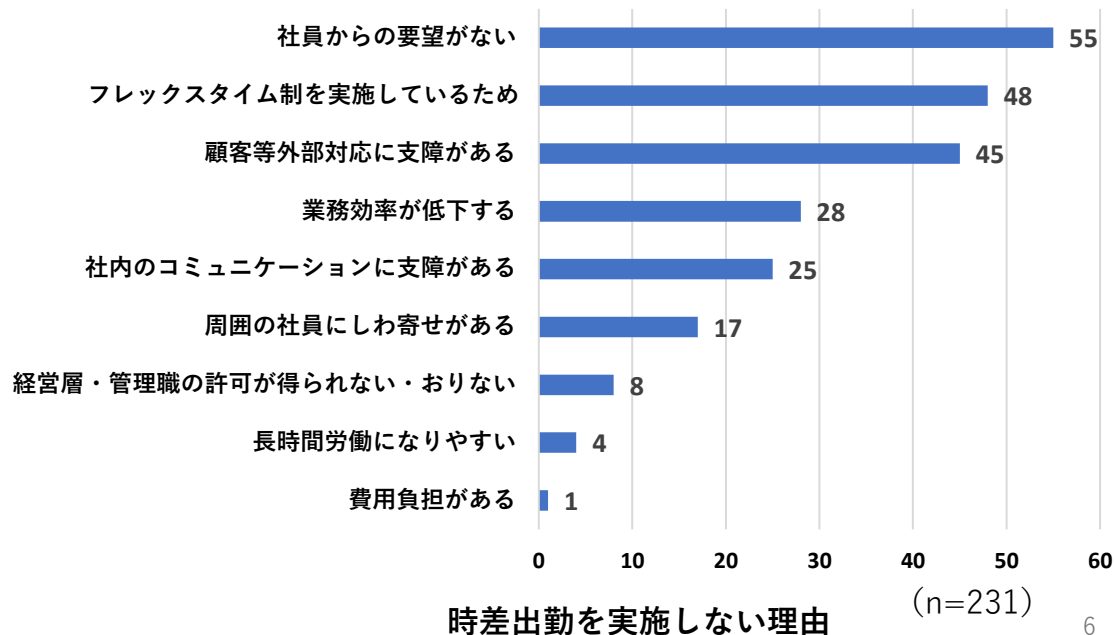
Q1において、時差出勤を選択しなかった企業の状況

(※取組内容として時差出勤を選択していない企業)

- ・時差出勤をしない理由としては「社員からの要望がない」が24%を占めており、最も多かった
また、「フレックスタイム制を実施しているため」が次いで20%を占めていた



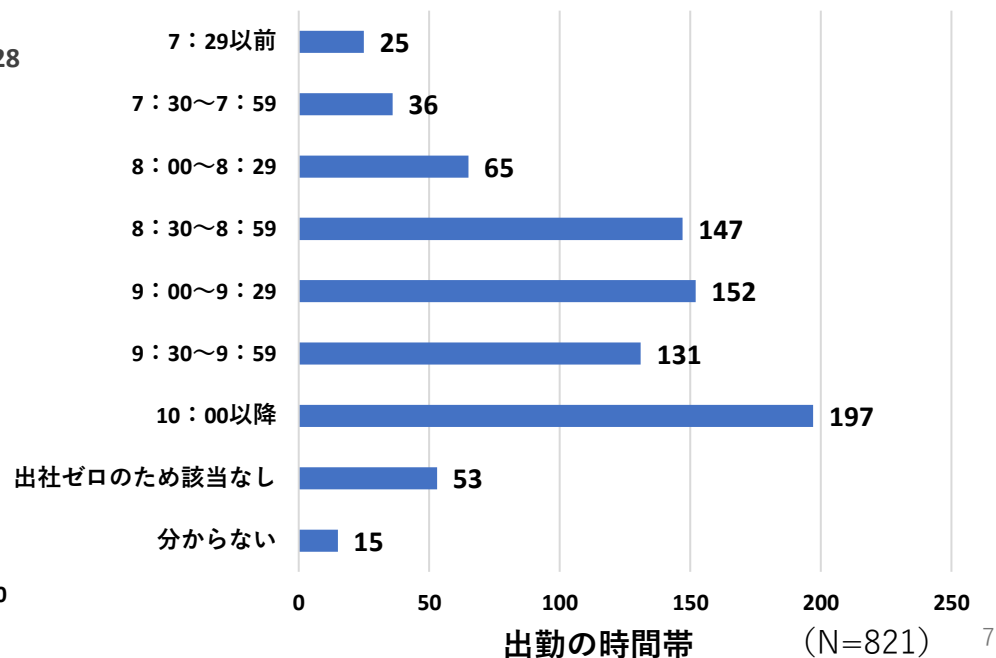
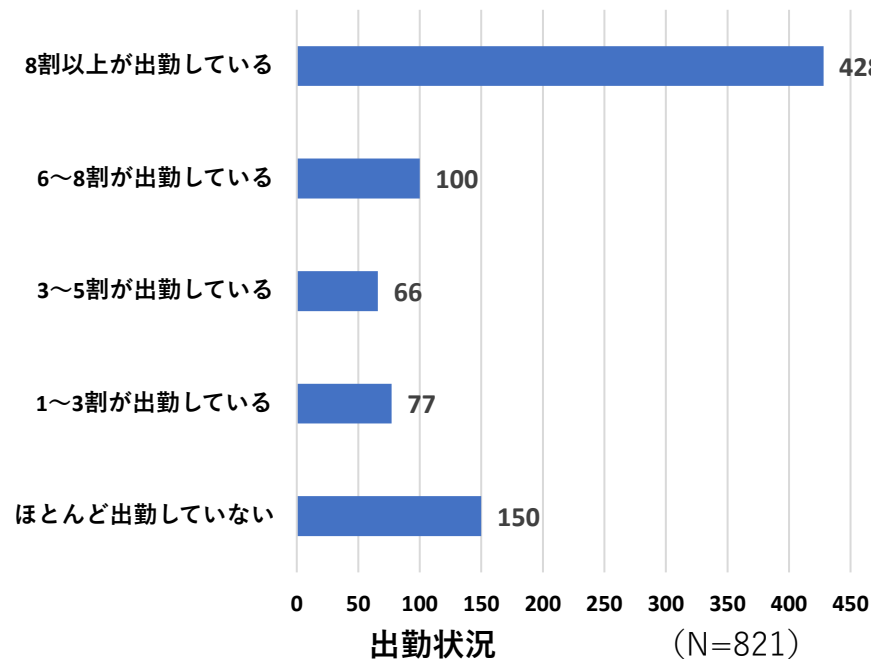
時差出勤実施状況 (n=239)



Q4,5：従業員の出勤割合と時間帯

2025年8月の従業員の出勤割合とその時間帯

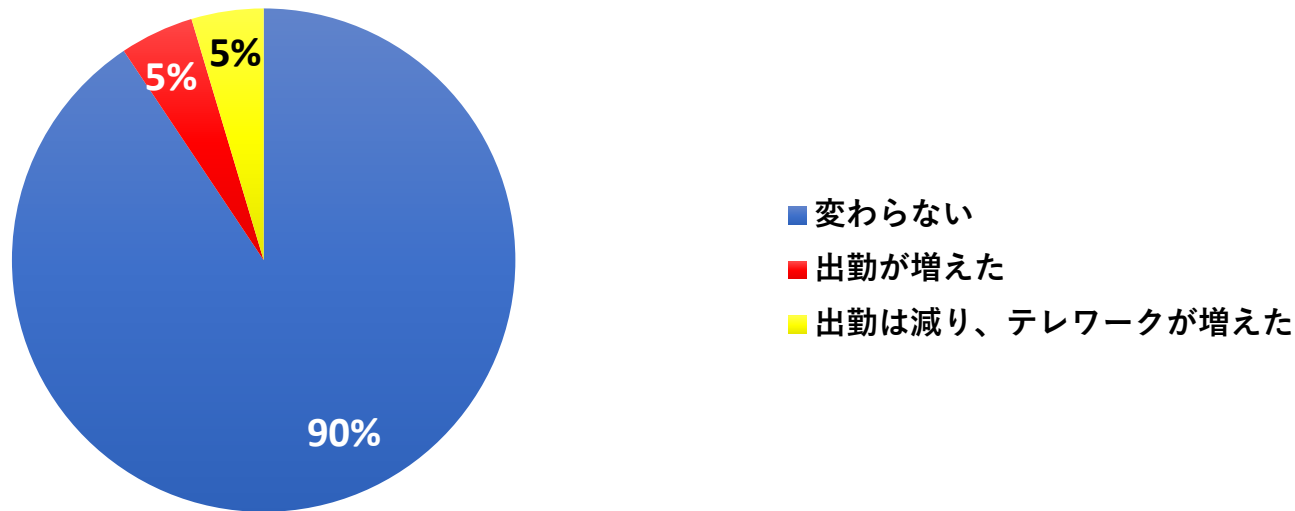
- ・約半数の企業が「8割以上が出勤している」と回答している
- ・また、出勤時間帯としては依然として8時～10時以降に分散しており、中でも「9:30～9:59」に出勤している割合は、前回と比較し、5%増加した ※前回調査 10%



Q6：2025年5月からの勤務形態の変化について

前回調査時（2025年5月）と比較した、勤務形態の変化

- ・ 9割以上の企業が「変わらない」と回答
前回調査からの勤務形態に変化が見られなかった

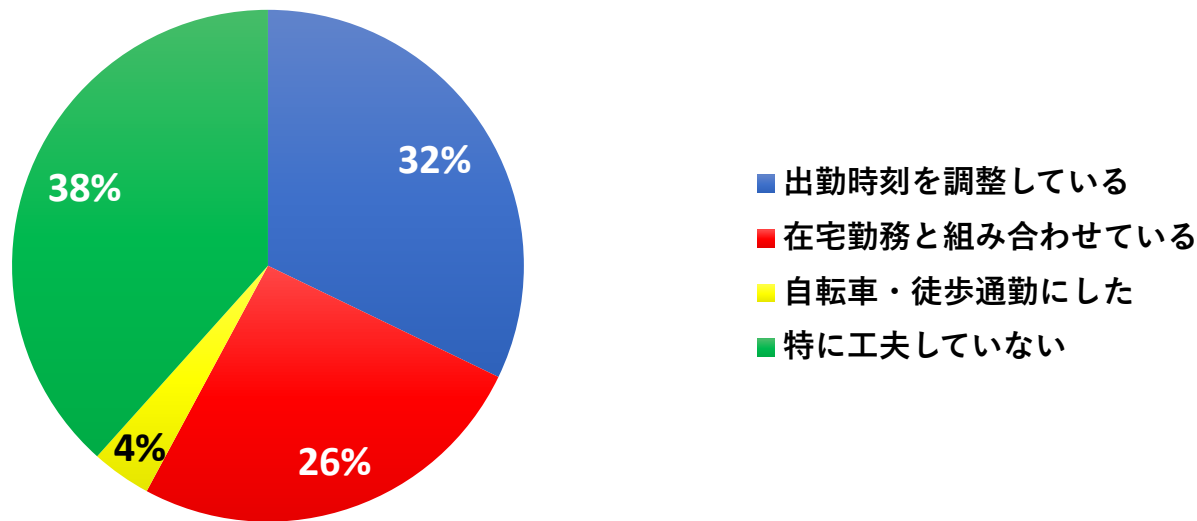


勤務形態の変化 (N=821)

Q7：通勤時の混雑への工夫について

通勤時の混雑を避けるために実施している工夫について

- ・ 32%の企業が「出勤時刻を調整している」と回答
また26%の企業が「在宅勤務と組み合わせている」と回答するなど、それぞれ混雑を避けるため工夫をしている



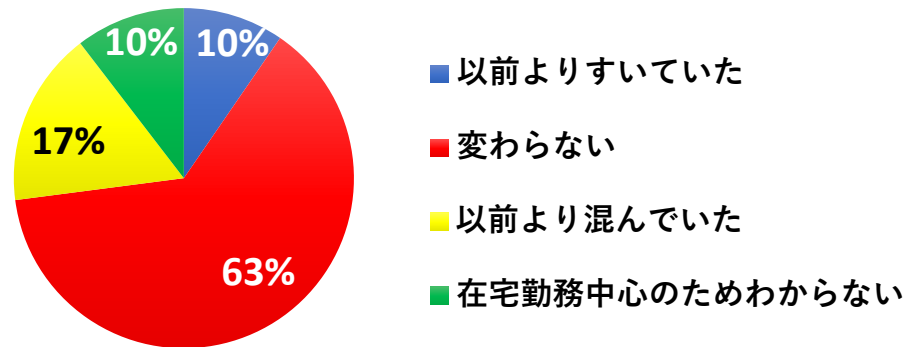
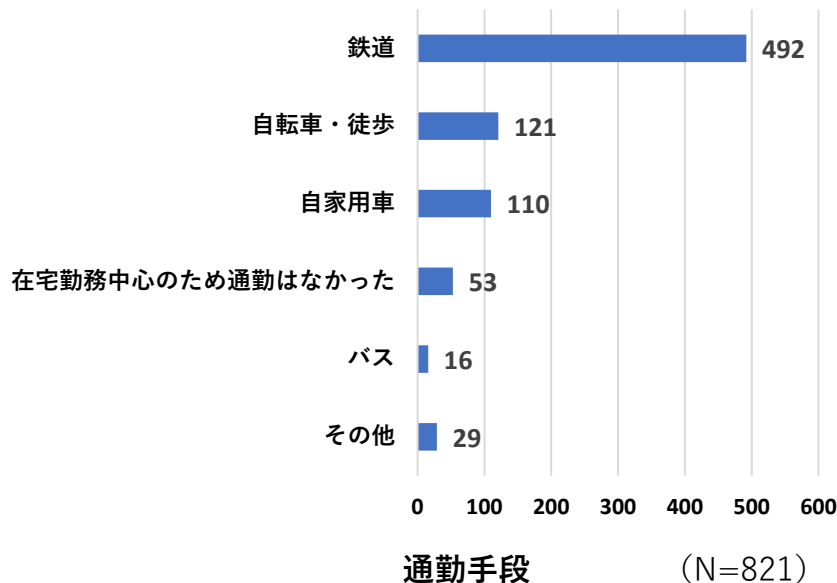
通勤時の混雑を避けるための工夫

(N=821)

Q8：回答者の通勤状況について

2025年8月での主な通勤方法、混雑状況

- ・ 492社が通勤方法として「鉄道」と回答しており、バス通勤も含め61%が公共交通機関を使用して通勤している
- ・ 前回調査時（2025年5月）と比較した鉄道の混雑状況について、「変わらない」という意見が63%、次いで「以前より混んでいた」との回答が17%を占めた
- ・ 一方で10%は「以前より空いていた」と回答している



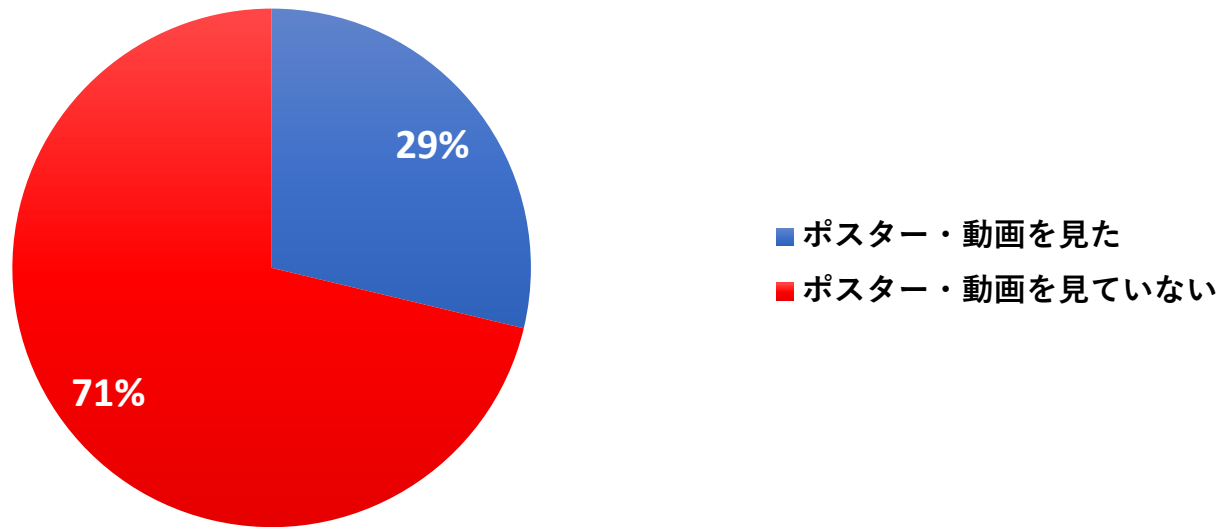
2025年5月に比較した8月の鉄道の混雑状況 (n=595)

※主に「鉄道で出勤している」と回答した方に質問

Q9：オフピーク通勤について

鉄道駅や車両内で東京都のオフピーク通勤に関する広告（駅構内のポスター、サイネージ、鉄道車両内のモニター等）について

- ・ 約3割が「ポスター・動画を見た」と回答している



広告の認知

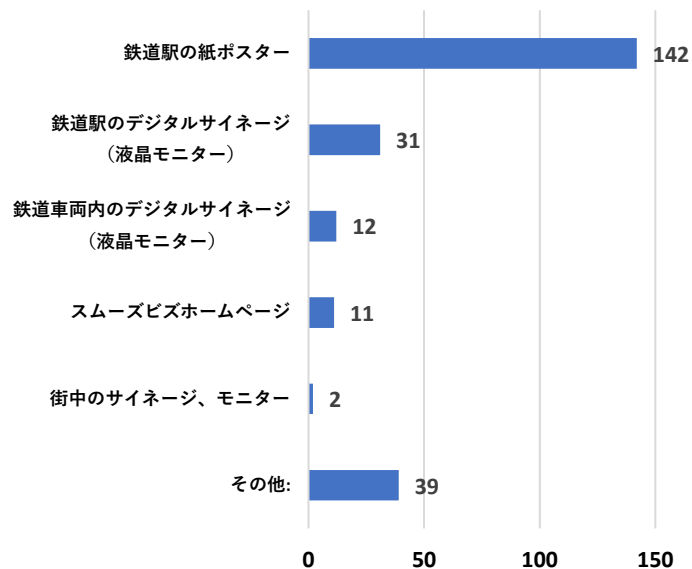
(N=821)

Q10：オフピーク通勤について

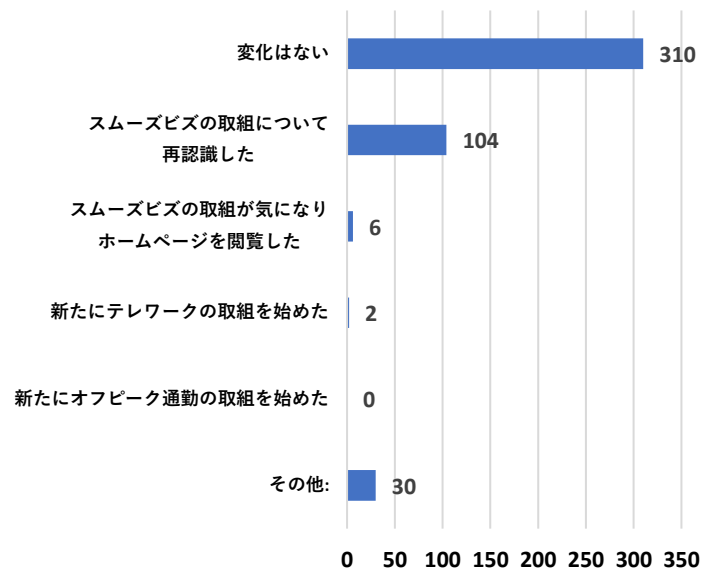
ポスターや動画を見た場所、その後の変化について

(※オフピーク通勤に関する広告を「見た」と回答した方への質問)

- ・59%が鉄道駅の紙ポスターで見ている
- ・それ以外にも、駅構内や車両内のデジタルサイネージなど、鉄道駅で見たという回答が多数だった



オフピーク通勤に関する広告を見た場所 (n=237)



広告を見たことによる意識・行動の変化 (n=452) 12